



2023  
2月

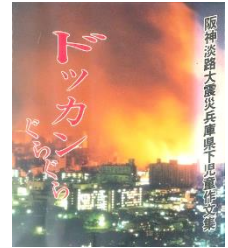
# 園だより

認定こども園 下関短期大学付属第二幼稚園  
山口県下関市彦島塩浜町2丁目2-21 ☎ 083(266)5821

## 地震、雷、火事、親父

10年に1度の寒波と言われ、覚悟を決めて待ち構えていた分、先日の雪は大したことがなく安心しました。「こんなときでも、何も無いのが下関」とまた誰かが言っているかもしれませんが、下関市は日本の中でも災害が比較的少ないと言われていました。今回の寒波もそうでした。ですが、今回もし周南市のような大雪に見舞われたら下関は大パニックです。一応備えはしていても、心のどこかに「何も無いのが下関」というかすかな期待があるのも、長年大きな災害がないことの安心感からではないでしょうか。

平成7年に起きた阪神淡路大震災。一帯は80年近くも大きな地震がありませんでした。下関は、震度3以上の地震さえ観測史上一度もないそうです。しかし、地震が恐ろしいのは、前触れもなく突然起こること。親父よりも火事、火事よりも雷、雷よりも一番日本人が恐れてきたのが地震です。



つなみは、  
はしつて、かいだんをのぼった。ずぶに、ま  
まのくるまが、なげすた。とこも、つな  
つた。おんは、くらくて、すもか。た。

「つなみ」(被災地の子どもたちの作文集) 文藝春秋

ままのくるまが、ながされた

名取市 幼稚園 玉田真菜

わたしの一番こわかった日  
神戸 湊小二年 き多 さゆみ  
「ガツチャーン。」  
というすごい音が聞こえ、ベッドが、ジエツ  
トコースターのようにゆれていました。わたし  
は、ベッドで頭をうったり。したをかんだり、  
何かと目をつまみました。まわりはまっ  
くらで、何も見えなかったけれど、弟のなき声  
だけが聞こえました。  
少し明るくなってへやを見ると、ガラスや電  
球がわれて何もかもがめちゃくちゃでした。  
すぐに、お母さんが、  
「早く、くつをはきなさい。」  
と言ったので、ベッドの上でくつをはいて外へ  
出ました。学校へ行く道も、あながあいたりも  
り上がったりにして、だんだんこわくなりました。  
(後略)

「ドッカンぐらぐら」(阪神淡路大震災児童作文集) 甲南出版

左の作文は、平成22年の東日本大震災で被災した子どもの作文です。東北地方太平洋側の人々は、昔から地震・津波の被害を受けてきたため、その教訓を生かして各家庭でも防災訓練を行っています。文中の「はだしてにげた」は、一刻も待ってられない津波の怖さを、世代を超えて伝えられてきたことがわかります。

一方、右の作文。瀬戸内海に面した阪神地域では、かつて巨大津波に襲われた記録がありません。恐らく地震に対する備えも知識程度だったと思います。したがって、あわてなくても落ち着いて避難することを優先しています。文中「早く、くつをはきなさい。」の言葉は、津波への警戒ではなく、余震への警戒と思われる。

さて、下関市。今後も地震がないとは言い切れません。「南海トラフ巨大地震」の影響は少なからずあると覚悟しておくべきです。地震に備え、園では定期的に避難訓練を実施しています。ご家庭でも地震が起こった際の行動マニュアル(わが家ルール)を決めておかれることをお勧めします。

本園では、地震発生時の対応として、どこにも移動はしません。巨大津波が来る場合は、全員をわくわく山に避難させます。非常食と飲料水は備蓄していますのでご安心ください。保護者の皆様は、安全を確認された上で、落ち着いてお子様のお迎えをお願いします。(園長 寺本 明生)